

## 栃木県教育委員会定例会会議録

平成27年11月4日(水)、栃木県教育委員会定例会を栃木県庁南別館内教育委員室に招集した。

1 出席委員は次のとおりである。

1 番 (委員長)	岡	直 樹
2 番	吉 澤 慎	太 郎
3 番	伏 木 由	佳 子 (欠席)
4 番	工 藤	敬 子 (欠席)
5 番	陣 内	雄 次
6 番 (教育長)	古 澤	利 通

2 議事に参与した職員は次のとおりである。

教 育 次 長	金 田	繁 夫
教 育 次 長	金 井	正 誠
総合教育センター所長	長 野	金 市
総 務 課 長	石 崎	隆 治
施 設 課 長	江 連	幸 宏
教 職 員 課 長	軽 部	美 誠
学 校 教 育 課 長	宇 梶	清 隆
特 別 支 援 教 育 室 長	中 田	好 和
生 涯 学 習 課 長	猪 瀬	晃 満
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	塩 澤	信 男
文 化 財 課 長	荷 見	祐 子
健 康 福 利 課 長	伊 藤	惠 治
国 体 準 備 室 長	今 泉	浩 明
総 務 主 幹	入 野	和 修
人 権 教 育 室 長	鈴 木	
児 童 生 徒 指 導 推 進 室 長	赤 羽	
学 力 向 上 推 進 室 長	野 中	
世 界 遺 産 登 録 推 進 室 長	羽 瀬	

3 午前9時30分、委員は4名出席しており、委員会は成立したので、定例会を開催する旨を告げた。

4 委員長は、本日の会議録署名委員に5番陣内委員を指名した。

5 委員長は、本日の議案等のうち、第1号議案から第3号議案については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(旧法)第13条第6項の規定に基づき、会議を非公開で行いたい旨、各委員に諮ったところ、全委員の賛成により非公開とすることに決定した。

6 委員長は、報告を受ける旨を告げた。

## 7 報 告

- (1) 平成27年度中学校等生徒の進路希望調査(第1回)の結果について  
委員長から説明を求められ、総合教育センター所長が説明した。  
この報告に関して、委員から次のような質問や意見等があった。

### 〔委 員〕

- ・ 宇都宮工業高校・建築デザイン系は毎年希望調査の倍率が高く、今年  
は4.1倍だが、実際の出願倍率になると低下する。この進路変更でど  
こに出願を変えたかという調査はしているのか。

### 〔事務局〕

- ・ そこまでの調査はしていない。

### 〔委 員〕

- ・ 変更した子どもたちは、この時点で建築デザインの仕事を志すことを  
あきらめてしまうのか、それとも普通科に行って大学で目指すのか、と  
いうことになるかと思う。
- ・ 片や定員割れの工業高校も多い中で、県北や県南にも同レベルの工業  
高校を配置すれば、そこを目指す子どもたちも増えてくるのではないかと  
思う。

### 〔事務局〕

- ・ 出願については、中学校の進路指導で生徒ができるだけ自分の進みた  
い道に沿うようにしていると思う。
- ・ また、私見ではあるが、今後の高校再編を行う中で、学科・系の編成  
についても考えていかななくてはならないと考えている。

### 〔委 員〕

- ・ 普通科であれば高校も複数あり、子どもの学力に合わせて、中学校で  
この高校がよいとの指導ができるが、専門科は本来そういう訳にはいか  
ないはずで、それを中学校で受験校について指導されてしまうのは、少  
しかわいそうな気がする。

- (2) 平成27年度栃木県中学校・高等学校運動部に関する調査結果について  
委員長から説明を求められ、スポーツ振興課長が説明した。  
この報告に関して、委員から次のような質問や意見等があった。

### 〔委 員〕

- ・ 高校女子のダンス部というのはどういうものなのか。

### 〔事務局〕

- ・ 以前は創作ダンスであったが、最近ヒップホップ系のものが増えてき  
ている。

〔委員〕

- ・ 創作ダンスは確か8校くらいしかなかったはずだが、ヒップホップ系もサークルではなくて部活動として捉えているのか。

〔事務局〕

- ・ お見込みのとおりである。そういうものも部として捉え、活動しているところが多くなってきている。

〔委員〕

- ・ 創作ダンス以外の大会もあるのか。

〔事務局〕

- ・ 高体連の大会はないが、他では至るところで大会は行われているようである。

〔委員〕

- ・ 錦織選手などの活躍でテニスに注目が集まっているが、中学校の部活ではソフトテニスが多く、硬式のテニスは少ないようである。県として、硬式のテニスに力を入れるような考えはあるのかどうか。

〔事務局〕

- ・ 確かに中学校で硬式のテニス部はそれほど多くない。現在は、テニスもスイミングや体操と同じように、学校よりも民間のクラブに良い指導者がいて、競技力を高めているのが実態である。

〔委員〕

- ・ 高校の定時制で男女ともソフトテニスが上位だが、照明設備はあるのか。

〔事務局〕

- ・ 定時制のある高校は全て照明設備がある。

- (3) 平成27年度本県児童生徒の体力・運動能力調査結果について  
委員長から説明を求められ、スポーツ振興課長が説明した。  
この報告に関して、委員から次のような質問や意見等があった。

〔委員〕

- ・ 5ページの表左側の文科省の体力・運動能力調査は評価しにくいものとして捉えればよいのか。

〔事務局〕

- ・ 標本数が24～30名であり、信ぴょう性に乏しいものと考えている。

〔委員〕

- ・ 文科省自体も昭和39年からやっているものの、これでは駄目だとい

うことで、平成20年からの小5・中2の悉皆調査も行っていると考えてよいか。

〔事務局〕

- ・ 文科省に直接確認した訳ではないがおそらくそうであると思われる。昭和39年からの調査は、過去との比較のため止められないのではないかとと思われる。

〔委員〕

- ・ 本県の調査は、小・中学校は県内の3分の1を抽出しているということだが、地域ごとで抽出に偏りはあるのか。

〔事務局〕

- ・ 県北・県央・県南の地域ごとでも3分の1になるようにしている。

〔委員〕

- ・ 地域で差があるのか。

〔事務局〕

- ・ 地域ごとの結果は出していない。

〔委員〕

- ・ 旧黒羽町は全員バス通学であるという話を聞いたことがあり、必ずしも自然に恵まれた地域が体力があるということにならないのではないかと思い、地域ごとの結果も必要ではないのかと思って確認した次第である。

- 8 委員長は、審議に移る旨を告げた。
- 9 委員長は、第1号議案から第3号議案については、先の決定のとおり、会議を非公開で審議する旨を告げた。
- 10 第1号議案栃木県立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について第1号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 11 第2号議案栃木県図書館設置条例の一部改正について第2号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 12 第3号議案県有財産の譲与について第3号議案は、審議の結果、原案どおり可決された。
- 13 委員長は、以上で本日の会議を終了することを告げ、午前10時30分、閉会した。